

私のカルテ

No 3 3 1

慢性腎臓病を知っていますか



津島市民病院
腎臓内科医師
蜂矢 朝香

はじめに

現在わが国の慢性腎臓病（CKD）患者は約1330万人で成人の8人に1人がCKDと言われ、新たな国民病ともいわれています。CKDのうち最も重症である末期腎不全に至ると腎代替療法（透析、腎移植）が必要となります。透析治療を必要とする患者は約31万人で、年間約4万人の方が新しく透析を始めます。

CKDは糖尿病、高血圧といった生活習慣病から発症することが多く、これらの疾患患者の増加に伴い、透析予備軍の患者数は増加の一途をたどっています。さらにCKDは心筋梗塞や脳卒中といった重篤な疾患の原因になることが知られており、CKDの発症・重症化予防は非常に重要な課題となっています。

腎臓って何をこいつらね。

腎臓は背中（背骨）にあり、握り拳大の左右一対の臓器です。血液中の成分をろ過装置（糸球体）で濾し出した後、体にとって必要なものを取捨選択した後、血液中の余分な老廃物・酸・ミネラル・水分

などを「尿」として体外に排出します。

そのほかに、血圧を維持するホルモン（レニン）や血液を作る増血ホルモン（エリスロポエチン）をつくり、血圧のバランスを保ち、貧血を防いでいます。カルシウムを吸収して骨を作るビタミンDを活性化することで元気な骨の維持もしています。尿を作っているだけではないのです。

CKDとは

CKDとは①または②が状態です。

①尿異常、画像診断、血液、病理で腎障害が疑われる

②糸球体濾過量（GFR）
60mL/分/1.73m²以下

尿異常とは尿検査で血尿や蛋白尿が見られることで、腎臓のろ過装置にあたる糸球体の異常が疑われ、腎臓病の可能性が高くなります。

画像診断（CTや超音波検査など）で腎臓が小さくなっている（萎縮）と、長期にわたる腎臓病が疑われます。

血液検査では主に血清クレアチニン（Cr）値をみます。Crは主に筋肉から排泄される血液中の老廃物の一種で、通常であれば腎臓でろ過され、ほとんどが尿中に排出されます。しかし、腎臓の機能が低下していると、尿中に排出されずに血液中に蓄積されるので、血清Cr値が高いということは腎臓の機能が低下していることを意味します（※）。

病理とは腎生検により得られた腎臓の組織を顕微鏡で観察して診断を得ることです。当院では適応のある患者さんに腎生検を施行し、治療に役立てています。

GFRとは腎臓のろ過装置にあたる糸球体の実際の処理量のことです。正常は約100です。GFRは年齢、性別、血清Cr値から推測することができます。その推測の数値を推定GFRといえます。たとえば推定GFRが30であれば、腎機能は正常の30%に低下しているという意味です。

恐ろしいことにCKDでは初期症状はほとんどありません。進行すると（正常腎機能の約30%未満）体のむくみ、疲れやすさ、動悸、息切れ、食欲低下等が

見られてきて、正常腎機能の約10%以下になると生命維持のために腎代替療法が必要となります。

現代の医療においてもCKDは治ることが難しい病気ではありますが、早期治療介入によって進行を遅らせることができるため、早期発見が非常に重要です。

CKDを早期発見するために

健康診断や検診、医療機関で採血や尿検査を受けたことが一度はあると思います。もしお手元に検査結果があればぜひ見てください。もしかしたら今無症状であってもCKDの疑いがあるかもしれないかもしれません。その際には腎臓内科専門医の受診をお勧めします。

当院腎臓内科では近隣医療機関と連携し、CKD患者さんを診察させていただいていますので、何かありましたらご相談ください。

（※）
血清Cr値の基準値：男性0.6～1.1mg/dl、女性0.4～0.7mg/dl
Crは筋肉量によって左右されるため、結果の解釈に注意が必要。